

2020年8月3日

各位

会社名 株式会社富士山マガジンサービス  
代表者名 代表取締役社長 西野 伸一郎  
(コード：3138、東証マザーズ)  
問合せ先 取締役経営管理グループ長 佐藤 鉄平  
(TEL. 03-5459-7076)

### 2020年12月期 第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月3日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年2月12日に開示した2020年12月期第2四半期（2020年1月1日～2020年6月30日）の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の第2四半期連結業績予想数値の修正（2020年1月1日～2020年6月30日）

(単位：百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	2,470	106	105	66	21円20銭
今回修正予想（B）	2,470	160	160	110	35円55銭
増減額（B-A）	—	54	55	44	—
増減率（%）	—	50.7%	52.3%	65.1%	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2019年12月期)	2,103	110	115	63	20.59

#### 2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間においては、東京オリンピックの開催に伴う配送費用の増加及び物流倉庫の人件費上昇に伴う委託原価の上昇等を想定し、連結予算を作成しておりましたが、東京オリンピックの開催延期により当初想定していたほどのコスト上昇は起こりませんでした。そのため当第2四半期連結会計期間において、期初予算で想定していたコストが発生しないことが明らかになったため、2020年12月期第2四半期連結業績予想を修正いたしま

す。

なお、2020年12月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症によるEコマース需要の上昇に伴う物流倉庫の取り合い、物流倉庫における3密対策等によるコスト増に伴う配送収益の悪化の可能性、新型コロナウイルス感染症の第二波による当社の顧客である出版社、購読者への影響が現時点では予測不可能であるため、現時点では予想を据え置き、予算修正が必要な状況になった場合には速やかに開示を行います。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上